

Rotary



国際ロータリー
第2620地区

御殿場
ロータリー
クラブ

週報



御殿場
ロータリークラブ
モバイルサイト

<https://www.gotemba-rc.jp/>

第2643回 例会プログラム

- 例 会 場／名鉄菜館
- 開 会 点 鐘／12：30
- 国 歌 斉 唱 ●ロータリーソング／四つのテスト
- 内 容／旅行業界の現状と今後 勝又 洋君

会 員 慶 事

- 会員誕生日／12月7日 勝又 重春君
12月7日 橋本 喜市君
- 夫人誕生日／12月3日 橋本 喜市君 ご夫人 晃実様
- 皆 出 席／11月28日 勝又 重春君(ロータリー歴37年)
12月1日 勝又 英和君(ロータリー歴10年)

会 長 挨 拶

橋 本 喜 市



御殿場ロータリークラブも当然そうですが、日本のロータリークラブでは、例会に限らずさまざまな会合は点鐘で始まり、点鐘で終わります。外国のロータリークラブでも同じように、例会で点鐘するクラブは少なくないようです。外国では例会前に食事をするクラブが多く、食事が終わり、例会を始める切り替えの合図として鐘を鳴らすそうです。一方、点鐘の代わりに「Call to Order」、つまり「お静かに願います」の発言で例会が始まるか、発言に続くお祈りの後に例会が始まるクラブもあるようです。また、点鐘ではなく、木槌を叩くクラブもあるようです。いずれにしてもケジメをつけるという意味で、例会では点鐘、または類似の儀式が行われているようです。

日本では、1920年頃、東京クラブの例会で点鐘が行われていて、それを他のクラブが真似ていったのではないかとされています。当時の日本の学校では、授業の開始・終了時間は鐘を鳴らして知らせる習慣

がありました。また、江戸時代はお寺の鐘で時刻が伝えられました。それだけに、開始・終了のケジメをつけるという意味での点鐘は日本人の習性に合っているのでしょう。

ちなみに、点鐘は英語で「Ship'bell」や「Time bell」と言い、その由来は、大航海時代に船上で時間を知らせる鐘だったようです。時計がなかった当時、航海の最中に時刻を知ることができたのは、太陽の高度が最大になった正午(12時)だけで、正午以降は、30分毎に砂時計をひっくり返しなが、時刻を測っていたそうです。そして、砂時計をひっくり返す30分毎にタイムベルを鳴らし船内に時間を知らせていたそうです。様々な形があるようですが、ケジメとして良い慣習だと思います。



会長挨拶用 QRコード

11/25の出席報告

会員数	出席計算に用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の確定出席率
55名	52名	48名	92.31%	100%

欠席者(4名)

※やむを得ず欠席される方は、午前9時50分までにご連絡下さい。



司 会
菅沼良将君



出席報告
中溝敬之君



幹事報告
渋谷 一君



会員誕生日・皆出席
鈴木榮一君



会員誕生日
林 準君



SERVE TO CHANGE LIVES

奉仕しよう

みんなの人生を豊かにするために

次 回
12月9日の
例 会

- ★東山荘講堂
- ★12：30点鐘
- ★第1回クラブ協議会

ロータリー財団月間に因んで



ロータリー財団委員会
委員長

齊藤礼志君

本日、財団の使命や各補助金等の紹介資料を配布しました。財団の使命や歴史を踏まえ、ポリオプラス補助金や地区補助金、グローバル補助金等を紹介します。

まず、1番大事なロータリー財団の使命をご紹介します。ロータリー財団の使命とは、ロータリアンが人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を構築できるよう支援することです。非営利組織である当財団は、ロータリー会員をはじめ、より良い世界を築こうというビジョンを共有する財団支援者の方々からの自発的な寄付のみによって支えられています。ご寄付はロータリー財団の補助金となり、助けを必要とする地域社会に持続可能な変化をもたらす活動に役立てられています。

次に財団の歴史について。1917年当時のアーチ・クラフ会長が「世界で良いことをする」ための基金をつくるというビジョンを発表しました。初めて寄付を行ったのはカンザスシティのロータリークラブで、26ドル50セントの寄付をはじめに、1928年に正式にロータリー財団という名称になりました。これまでに100年以上の歴史があります。その後、経口ポリオワクチンの開発者であるアルバート・サビン博士がロータリーのポリオ活動に提携していただき、ワクチンの接種が増えました。

2000年代にはいり、有名なビル&メリнда・ゲイツ財団が1億ドルのチャレンジ補助金をロータリーに寄付しました。その後、この財団が継続的にロータリー財団へ寄付し、財団運営に寄与しています。2018年において100年の歴史ということで、新しくオンラインショップで歴史を

深掘している書物が販売されているので、興味のある方は一読いただければと思います。

次に補助金について。補助金には、ポリオプラス補助金と地区補助金、グローバル補助金、災害救助補助金があります。ポリオプラスについては、ワクチン接種を子供たちに推奨するためのボランティアやワクチンへの費用に充てられています。1988年には126か国で35万件以上の発症がみられましたが、現在は99.9%に減少しており、ポリオに対するロータリーの力が発揮されています。2019年から2020年の1年間で、ポリオプラスの補助金は1億5,180万ドルになります。また地区補助金は490件3,360万ドル、グローバル補助金については1,359件9,560万ドル、災害救助補助金については339件で840万ドルの補助金ができています。

地区補助金ですが、当クラブは2013年から毎年申請をし、審査の上、財団補助を受けています。今年も125,000円の補助金を受け取り、未来への手紙事業に充てています。

最後に、本年度の財団委員会の事業計画を報告します。

- ① 年次寄付として1人年額150ドルの達成に努める。
- ② 恒久基金としてベネファクターの1名以上の達成を目指す。
- ③ 使途使命寄付としてポリオプラス基金への寄付1人30ドルの達成に努める。
- ④ ロータリーカードへの加入を会員に勧める。
- ⑤ 地区補助金として青少年奉仕委員会が行う「未来への手紙」事業について、ロータリー財団から地区補助金の申請を行い、交付された補助金の適正な管理を行う。ぜひとも皆さんの協力をお願いします。



卓話風景



プログラム委員長
芹澤隆博君

記念品贈呈



写真左より
秋田敬前幹事、白井良太前会長、
橋本喜市会長



11/25のスマイル

ビッグスマイル

先日、地区で募集のあったロータリー川柳に、応募した3句のうち1番まじめな句を、静岡新聞ではなく山梨日日新聞に掲載していただきました。新聞に名前が載ることなんてめったにないので、静岡には売っていないということで山梨まで新聞を買いに行き、隅から隅までどこに載っているか3回は探しましたが、どうしても見つかりませんでした。間違いだったのかと思いましたが、時間を置いて改めて見たら、社会面の真ん中の記事と記事の間にポツンと自分の句だけが小さく載っているのを見つけました。よかったです。ありがとうございました。

池谷正徳君

Rotary 国際ロータリー第2620地区

御殿場ロータリークラブ

○例会日/木曜日
○例会場・事務局/YMCA 東山荘
静岡県御殿場市東山1052
電話/0550-83-1133 FAX/0550-83-1138
<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>

会 長 ○ 橋本 喜市
幹 事 ○ 渋谷 一
会報委員長 ○ 長島 和彦